

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2004 年 6 月 10 日 (10.06.2004)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2004/049708 A1

(51) 国際特許分類: H04N 5/91

(21) 国際出願番号: PCT/JP2003/014356

(22) 国際出願日: 2003 年 11 月 12 日 (12.11.2003)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2002-342536
2002 年 11 月 26 日 (26.11.2002) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): ソニー株式会社 (SONY CORPORATION) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 Tokyo (JP).

(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 柳田 敏治

(YANAGIDA, Toshiharu) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社内 Tokyo (JP). 林 邦也 (HAYASHI, Kuniya) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社内 Tokyo (JP). 青木 裕子 (AOKI, Yuko) [JP/JP]; 〒108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 番 1 8 号 ソニーマーケティング株式会社内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 田辺 恵基 (TANABE, Shigemoto); 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1 丁目 11 番 11-508 号グリーンファンタジアビル 5 階 Tokyo (JP).

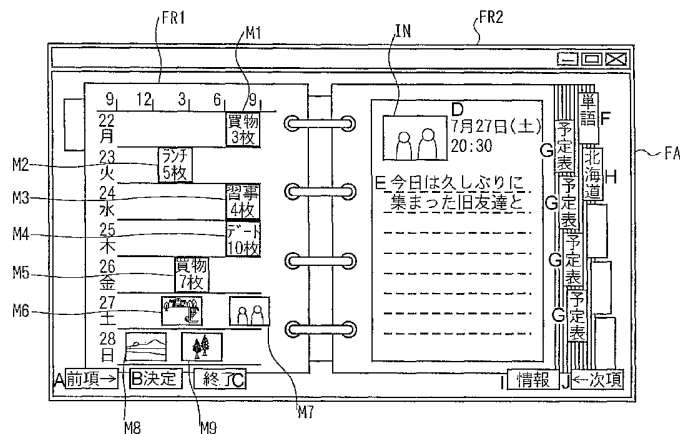
(81) 指定国 (国内): CN, KR, US.

添付公開書類:
— 国際調査報告書

2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: IMAGING APPARATUS AND RECORDING METHOD

(54) 発明の名称: 撮像装置及び記録方法



22...MON

23...TUE

24...WED

25...THU

26...FRI

27...SAT

28...SUN

A...PREVIOUS PAGE

B...ENTER

C...EXIT

M1...THREE SHOTS OF SHOPPING

M2...FIVE SHOTS OF LUNCH

M3...FOUR SHOTS OF SCHOOL

M4...TEN SHOTS OF DATE

M5...SEVEN SHOTS OF SHOPPING

D...JULY 27TH (SAT) 20:30

E...TODAY, I GOT TOGETHER WITH SOME OLD FRIENDS I HAD NOT MET FOR A LONG TIME

F...WORDS

G...SCHEDULE

H...HOKKAIDO

I...INFORMATION

J...NEXT PAGE

(57) Abstract: An imaging apparatus and a recording method that remarkably improve the usability. Directories are made in accordance with selected ones of a plurality of sorts of preset imaging conditions. Image data obtained as results of imaging subjects are allocated to the directories associated with the selected imaging conditions. Identification information associated with the selected imaging conditions

[続葉有]



are added to the image data. Thereafter, the image data to which the identification information have been added are stored together with an application program representative of one or more designated applications in such a manner that the image data are associated with the one or more designated applications.

(57) 要約: 本発明は、ユーザの使い勝手を一層向上し得る撮像装置及び記録方法を実現するものである。予め設定された複数種類の撮影状況のうち、選択された撮影状況に応じてディレクトリを作成し、被写体の撮影結果として得られる画像データを、選択された撮影状況に応じたディレクトリに割り当てて、選択された撮影状況に対応する識別情報を画像データに付加した後、識別情報が付加された画像データを、指定された少なくとも1以上のアプリケーションに関連付けるように当該アプリケーションを表すアプリケーションプログラムと共に記憶するようにした。

明 細 書

撮像装置及び記録方法

技術分野

本発明は撮像装置及び記録方法に関し、例えば撮像素子によって撮像された画像を記録媒体に記録するデジタルカメラに適用して好適なものである。

背景技術

従来、この種のデジタルカメラにおいては、CCDに結像された映像を複数の静止画像としてメモリカードに記録しておき、必要に応じて当該メモリカードから所望の静止画像を選択的に読み出して、カメラ本体に設けられたLCDや、外部接続された家庭用のテレビジョンやパーソナルコンピュータのモニタ等に表示するようになされている。

このようなデジタルカメラでは、一般的に、撮像した被写体の画像を表す画像データは、撮影モードに応じたファイルごとに、撮影した順番を表す通し番号や撮影日時等に基づいてまとめてメモリカードに記録されるようになされている。

そしてユーザがデジタルカメラを用いて、メモリカードに記録された画像群のうち所望の画像を見直したい場合には、当該メモリカードから読み出した画像群を順次1枚ずつ全画面として又は複数枚単位のインデックス画面として液晶モニタ上に表示させながら、ユーザが目視確認により検索するようになされている。

しかし、このような液晶モニタ上に順次画像を表示させながら所望の画像を検索する方法では、撮影した画像の数が比較的少ない場合には実用上十分に対応することができるが、大容量のメモリカードを使用した場合など、撮影された画像の枚数が非常に多い場合には、ユーザが液晶モニタを目視確認しながら膨大な画

像群の中から所望の画像を検索するのは非常に困難であった。

このため実際には、デジタルカメラから取り出したメモリカードをパーソナルコンピュータに取り込んで、又はデジタルカメラを例えばUSB (Universal Serial Bus) ケーブル等の通信ケーブルを介して接続するようにして、ディスプレイ画面上に表示される当該メモリカードに対応するディレクトリを用いて、複数のファイルを階層的に管理するようになされたものが多い。

すなわち一般的なパーソナルコンピュータにおいては、メモリカードが装填されると、自動的又はユーザの操作に応じて、ディスプレイ画面上に当該メモリカードに応じたディレクトリを表示させ、続いてユーザの操作に応じて当該ディレクトリが展開されると、当該ディレクトリに含まれる複数のファイルを表示させるようになされている。

ユーザはかかる複数のファイルの中から所望の画像に対応する撮影モードのファイルを検索し、当該ファイルを展開することにより、当該ファイルに割り当てられている複数の画像群の中から所望の画像名を選択することにより、当該画像名に応じた画像をディスプレイ画面上に表示し得るようになされている。

そして、近年では、このようなディレクトリを用いた階層的なファイル管理方法として、例えば、「ポートレート」、「集合写真」、「風景」、「クローズアップ」、「スポーツ」、「自動選択」等のように、撮影する被写体の種類によってディレクトリを分類整理しておき、撮影時におけるユーザの選択的な操作に応じて、又は撮影結果に基づく画像パターン分析によって自動的に、1のディレクトリを選択した後、当該ディレクトリ情報を対応する画像データに付加しておくことにより、再生時において画像の検索及び編集が容易にし得るようになされたものが提案されている。(例えば、特許文献1参照)。

特許文献1 特開平6-78260号公報(第3頁及び第4頁、図3及び図5)。

しかし、このように被写体の種類に応じたディレクトリ情報が画像データに付加されて記録されたメモリカードを、パーソナルコンピュータに装填して再生すると、ディスプレイ画面上にはディレクトリが表示されるにすぎず、かかるディレクトリと当該ディレクトリに含まれる画像との関係は、ユーザが自分で設定する必要がある。

その際、ユーザが使用するパーソナルコンピュータ内部に予め所望のアプリケーションソフトがインストールされていれば問題はないが、当該アプリケーションソフトがない場合には、別途購入したり、又はユーザが自分で実行可能なアプリケーションプログラムを作成したりするなど、そのために要する手間及び時間等の負担が大きくなるという問題がある。

発明の開示

本発明は以上の点を考慮してなされたもので、ユーザの使い勝手を一層向上し得る撮像装置及び記録方法を提案しようとするものである。

かかる課題を解決するため本発明においては、被写体を撮影する撮影手段と、予め設定された複数種類の撮影状況のうち、選択された撮影状況に応じてディレクトリを作成するディレクトリ作成手段と、撮影手段の撮影結果として得られる画像データを、選択された撮影状況に応じたディレクトリに割り当てる割当手段と、選択された撮影状況に対応する識別情報を画像データに付加する付加手段と、識別情報が付加された画像データを、指定された少なくとも 1 以上のアプリケーションに関連付けるように当該アプリケーションを表すアプリケーションプログラムと共に記憶する記憶手段とを設けるようにした。

この結果、この撮像装置による撮影後の記憶手段から記憶内容を再生したとき、当該記憶手段によって記憶されている撮像状況ごとの画像データを表示させるのみならず、必要に応じてアプリケーションプログラムに基づくアプリケーションに撮影状況ごとの画像データを関連付けて表示させることができ、当該アプ

リケーションを有効に活用することができる。

また本発明においては、予め設定された複数種類の撮影状況のうち、選択された撮影状況に応じてディレクトリを作成する第1のステップと、被写体の撮影結果として得られる画像データを、選択された撮影状況に応じたディレクトリに割り当てる第2のステップと、選択された撮影状況に対応する識別情報を画像データに付加する第3のステップと、識別情報が付加された画像データを、指定された少なくとも1以上のアプリケーションに関連付けるように当該アプリケーションを表すアプリケーションプログラムと共に記憶する第4のステップとを設けるようにした。

この結果この記録方法では、撮影後の記憶内容を再生したとき、当該記憶されている撮像状況ごとの画像データを表示させるのみならず、必要に応じてアプリケーションプログラムに基づくアプリケーションに撮影状況ごとの画像データを関連付けて表示させることができ、当該アプリケーションを有効に活用することができる。

図面の簡単な説明

図1は、本実施の形態によるデジタルカメラの外観構成を示す略線図である。

図2は、本実施の形態によるデジタルカメラの内部構成を示す略線図である。

図3は、撮影状況に応じたシーン名及び対応するマークを示す略線図である。

図4は、画像データのデータフォーマットの説明に供する略線図である。

図5は、ディスプレイ画面上のディレクトリ表示の説明に供する略線的な平面図である。

図6は、画像ファイルが関連付けられたアプリケーション画面の説明に供する略線的な平面図である。

図 7 は、第 1 の実施の形態によるメモリカードへの記録処理手順の説明に供するフローチャートである。

図 8 は、第 2 の実施の形態によるメモリカードへの記録処理手順の説明に供するフローチャートである。

発明を実施するための最良の形態

以下図面について、本発明の一実施の形態を詳述する。

(1) 第 1 の実施の形態

(1-1) デジタルカメラの外観構成

図 1 において、1 は全体として本実施の形態によるデジタルカメラを示し、上端に凹部が形成されたケース本体 2 と、当該ケース本体 2 の凹部と適合するような略直方体状のカメラ部 3 とから構成され、当該カメラ部 3 がケース本体 2 の凹部内で矢印 a 方向又はこれとは逆方向に回転自在に支持されている。

このケース本体 2 において、背面部 2 A には、モード切替ダイヤル、メニューキー、マルチファンクションの十字キーや電源スイッチ等の複数のスイッチ群からなる操作部 4 A と、撮影内容を表示する液晶モニタ 5 とが設けられ、上端面には、シャッターボタン 4 B が設けられている。

またケース本体 2 の一側面部 2 B には、矢印 b 方向又はこれと逆方向に所定の角度範囲でのみ回転可能で回転方向と逆方向に付勢力が働く回転つまみ 4 C A を有し、かつ当該回転つまみ 4 C A の先端に回転軸方向に押圧可能な押圧ボタン 4 C B が取り付けられた操作部（以下、これをスティックダイヤルと呼ぶ）4 C が突出して設けられている。

またカメラ部 3 には、一面側に撮影レンズ 3 A、ビューファインダに対応する表示窓及びフラッシュ等（図示せず）が設けられ、他面側にビューファインダや当該ビューファインダに付随する種々のランプ等（図示せず）が設けられている。

このようにデジタルカメラ 1 においては、ユーザによってカメラ部 3 がケー

ス本体 2 に対して所望角度に位置決めされた後、シャッターボタン 4 B が操作されると、液晶モニタ 5 又はビューファインダに表示された被写体を撮影するようになされている。

(1-2) デジタルカメラの内部構成

図 2 は、本実施の形態におけるデジタルカメラ 1 の内部構成を示し、撮像部 10 において、投影レンズ 10 A を介して入射した撮像光を CCD (Charge Coupled Device : 電荷結合素子) の撮像面において光電変換することにより撮像信号 S 1 を得、これを信号処理部 11 内の CDS (Correlated Double Sampling : 相関 2 重サンプリング回路) 及び AGC (Auto Gain Control : 自動利得制御回路) 部 (図示せず) に送出する。

この CDS 及び AGC 部は、撮像信号 S 1 にリセット雑音が発生する期間においてその信号レベルを所定電位でクランプすることによって雑音成分を低減すると共に、当該撮像信号 S 1 の振幅を自動的に調整して出力を所定値に制御することによってコントラストの変動を防止する。

続いて信号処理部 11 は、撮像信号 S 1 に対して Y/C 分離、ガンマ補正及びホワイトバランス調整処理等を施した後、これをマトリクス処理によってビデオ信号 S 2 に変換し、アナログ/デジタル変換 (A/D) 部 12 を介してデジタルビデオ信号 S 3 に変換する。

これら撮像部 10、信号処理部 11 及び A/D 変換部 12 は、バス 13 を介してデジタルカメラ 1 全体の制御を司る CPU (Central Processing Unit) 14 と接続され、当該 CPU 14 の制御に基づいて各種動作を実行するようになされている。

また CPU 14 には、動作プログラムや各定数が記憶されている ROM (Read Only Memory) と、プログラムの実行時の作業領域となると共に画像を記録することが可能な RAM (Random Access Memory) とから構成されたシステムメモリ 15 と、デジタルカメラ 1 の

動作に関する各種定数や各種情報を電源遮断時にも記憶し続けることができる不揮発性メモリ16とがバス13を介して接続され、これらのメモリ15、16に対して各種データを必要に応じて記録再生し得るようになされている。

さらにCPU14には、上述した各種キー等からなる操作部4A～4CがI/O (Input/Output) ポート17及び続くバス13を介して接続されると共に、メモリカードスロット18がカードインターフェイス19及び続くバス13を介して接続され、さらに例えばGPS (Global Positioning System) 用のアンテナ20が送受信回路21及び続くバス13を介して接続されており、ユーザによる操作部4A～4Cによる操作内容及びメモリカードMCの挿脱に応じた伝達信号や、衛星から受けた電波に基づく位置情報DPを受けるようになされている。

さらにCPU14には、撮影時の被写体の光量を補うために発光するストロボ22の発光を制御するストロボ発光制御部23がバス13を介して接続され、ユーザによる撮像部の設定内容に応じて又は撮影環境の明るさを自動的に判断して、ストロボ22を発光させるための駆動信号S4をストロボ発光制御部23に送出するようになされている。

なおCPU14は、撮影日時やバッテリー使用時間などを管理するカレンダー時計部24がバスを介して接続され、常時時間管理を行うようにして、撮影時刻を撮影内容に付加したり、バッテリーの残量時間を計算するようになされている。

続いてCPU14は、撮像部10、信号処理部11及びA/D変換部12を介して得られたデジタルビデオ信号S3をデータ圧縮伸長部25に送出する。データ圧縮伸長部25は、CPU14の制御下において、通常の被写体確認時（すなわち動画撮影時）には、デジタルビデオ信号S3をフレーム単位でフレームメモリ26に順次書き込むと共に、デジタル/アナログ (D/A) 変換部27を介して所定方式（例えばNTSC (National Television System Committee) 方式等）のコンポジット信号S5に変換した後、これを液晶モニタ5に送出する。これにより液晶モニタ5の表示画面にコ

ンポジット信号S 5に基づく動画像が表示される。

ここでユーザがシャッターボタン4 Bを押圧操作したとき（すなわち静止画撮影時）には、CPU 1 4は、フレームメモリ2 6にデジタルビデオ信号S 3を書き込みながら当該デジタルビデオ信号S 3に基づく複数のフレーム画像の中からシャッター時に撮影したフレーム画像を表す画像データD 1を読み出した後、バス1 3を介してデータ圧縮伸長部2 5に送出すると共に、フレームメモリ2 6及びD/A変換部2 7を介してコンポジット信号S 5に基づく動画像のうち該当するフレーム画像D 1を液晶モニタ5の表示画面に表示させる。

このデータ圧縮伸長部2 5は、フレームメモリ2 6から読み出された画像データD 1に対して例えばJ P E G (J o i n t P h o t o g r a p h i c E x p e r t s G r o u p) 規格に基づく圧縮符号化処理を行うことにより、画像情報が圧縮されたフレーム画像を得る。かくして得られた圧縮フレーム画像を表す画像データD 2は、CPU 1 4の制御に応じて、カードI/F 1 9を介してメモリカードスロット1 8に挿入されているメモリカードMCに書き込まれるようになされている。

ここでユーザが操作部4 Aのうちモード切替ダイヤルを操作して撮影モードを選択すると、CPU 1 4はオンスクリーンディスプレイ (O S D : O n S c r e e n D i s p l a y) 部2 8に読出指令信号S 6を送出して、当該オンスクリーンディスプレイ部2 8に予め記録されている撮影モードの設定メニューを表すメニューバーを読み出させた後、D/A変換部2 7を介して液晶モニタ5上で画像データD 1に基づくフレーム画像に重畳表示させる。

ユーザの操作により、液晶モニタ5上に表示されたメニューバーの中から「アプリケーション選択」を表すメニューが選択されると、さらに「日記」及び「地図」の2種類のアプリケーション名が下位層として液晶モニタ5上に表示される。

このうちユーザの操作により1のアプリケーション名（例えば「日記」）が選択されると、CPU 1 4は、システムメモリ1 5にアプリケーション選択信号S

7を送出して、当該システムメモリ15に書き込まれている2種類のアプリケーションプログラムのうち選択されたアプリケーションプログラムを表すプログラムデータD5が読み出される。

続いてユーザの操作により、液晶モニタ5上に表示されたメニューバーの中から「シーンセレクト機能」を表すメニューがオン状態となるように選択されると、さらに被写体の撮影状況に応じた複数種類のシーン名が、スティックダイアル4Cの回転つまみ4CAの回転に応じて巡回しながら1つずつ選択可能な状態となる。

かかる被写体の撮影状況（すなわちシーン名）としては、図3に示すように、例えば「グルメ」、「デート」、「飲み会」、「旅行」、「スポーツ」、「家族」、「自分」及び「Auto」等があり、ユーザによるスティックダイアル4Cの回転つまみ4CAの回転に応じて、各シーン名が対応するマークと共に液晶モニタ5上に順次切り替えて表示される。

その後ユーザによりスティックダイアル4Cの押圧ボタン4CBが押圧操作されると、液晶モニタ5上に現在表示されているシーン名及びアイコンに応じた撮影状況が決定され、CPU14は、当該撮影状況に応じたシステムメモリ15から読み出した後、バス13を介してデータ圧縮伸長部25に送出する。

データ圧縮伸長部25は、CPU14の制御に応じて、フレームメモリ26から読み出したフレーム画像D1に対してJPEG規格に基づく圧縮符号化処理を行う際に、ユーザによって選択されたシチュエーション識別情報D6と、カレンダー時計部24から得られた撮影日時を表す時間情報D7と、システムメモリ15から読み出した画像フォーマット、画素数、圧縮率、ファイルサイズ及び画像アスペクト比などの画像に対する設定条件を表す画像記録情報D8とを、フレーム画像における画像データD1のヘッダ部分に記録する。

実際に圧縮符号化後の画像データD2に基づく圧縮フレーム画像は、JPEG規格に基づくデータフォーマットにおいて標準化されており、階層型符号化方式の場合、1枚の画像における画像データD2は、図4（A）～（D）に示すよう

に、上位から下位にかけてイメージ階層CL1（図4（A））、フレーム階層CL2（図4（B））、スキャン階層CL3（図4（C））及び画像データ階層CL4（図4（D））の4階層構造でなり、各層ごとにそれぞれのデータの意味を表すマーカ・コードが定義されている。

例えば可変長符号化の1つであるハフマン符号化に基づくJPEG圧縮データ列では、最上位のイメージ階層CL1（図4（A））は、画像全体の先頭及び最後を表すSOI（Start of Image）及びEOI（End of Image）のマーカ・コードで挟まれており、SOIマーカ・コードに続いて、アプリケーションで自由に利用可能なAPP1（Reserved for Application Segments 1）マーカ・コードと、ハフマン符号化テーブルの設定を更新するためのDHT（Defined Huffman Table）マーカ・コードと、量子化値テーブルを更新するためのDQT（Define Quantization Table）マーカ・コードとが順次記述され、その後に複数のフレームを有するフレーム階層CL2が記述されている。

このフレーム階層CL2（図4（B））は、階層符号化の場合には階層の数だけフレームを含み、各フレームには、先頭を表すSOF（Start of Frame）マーカ・コードと、当該フレームに関する情報が並べられたフレーム・ヘッダとに続いて、複数のスキャンを有するスキャン階層CL3が順次記述されている。

このスキャン階層CL3（図4（C））は、先頭を表すSOS（Start of Scan）マーカ・コードと、当該スキャンに関する情報が並べられたスキャン・ヘッダとに続いて、複数のECS（Entropy Coded Segment）マーカ・コードを有する画像データ階層CL4が順次記述されている。画像データ階層CL4（図4（D））は、各ECSマーカ・コードごとに、符号化が行われる最小単位であるMCU（Minimum Coded Unit）が複数記述されている。

このように実際にデータ圧縮伸長部 25 は、フレームメモリ 26 から読み出した画像データ D1 に基づくフレーム画像に対して J P E G 規格に基づく圧縮符号化処理を行う際に、シチュエーション識別情報 D6、時間情報 D7 及び画像記録情報 D8 を、各フレーム画像ごとに、J P E G 規格に基づくデータフォーマットのうちイメージ階層 C L 1 における A P P 1 (R e s e r v e d f o r A p p l i c a t i o n S e g m e n t s 1) マーカ・コードに書き込むようになされている。

このようにして C P U 14 は、ヘッダ部分にシチュエーション識別情報 D6、時間情報 D7 及び画像記録情報 D8 が記述された画像データ D2 を、撮影状況ごとに撮影枚数分の画像ファイルとしてまとめておき、当該各画像ファイルを、ユーザの選択に応じて与えられたプログラムデータ D5 に基づくアプリケーションプログラムのプログラム内容に関連付けた後、バス 13 及びカード I / F 19 を順次介してメモ리카ードスロット 18 に装填されているメモ리카ード M C に記録する。

なおこの場合、撮影状況ごとの画像ファイルと、アプリケーションプログラムのプログラム内容とを関連付けるためのプログラムは、当該アプリケーションプログラムに予め含まれており、当該アプリケーションプログラムを実行した際に自動的に画像ファイルがアプリケーションに組み込まれるようになされている。

そしてユーザは、デジタルカメラ 1 から取り出したメモ리카ード M C を、例えば所有するパーソナルコンピュータ（図示せず）を用いて再生すると、内蔵されているオペレーティングシステム（O S : O p e r a t i n g S y s t e m）が起動して、図 5 に示すように、メモ리카ード M C に対応するディレクトリのアイコンがディスプレイ画面上に表示され（図 5 の W 1）、当該ディレクトリを開くと、デジタルカメラ 1 に対応するディレクトリのアイコンと、アプリケーションプログラムに対応するアイコン（例えば、日記を表す「フォトダイアリ」）とが表示される。

このデジタルカメラ 1 に対応するディレクトリを開くと、シチュエーション

識別情報の種類（すなわち撮影状況の種類）に応じた数のディレクトリが生成されてディスプレイ画面上に並んで表示される（図5のW2）。さらにこれらのディレクトリを任意に開くと、当該各ディレクトリに対応する撮影状況で撮影された画像ファイルが表示され、当該画像ファイルを構成する画像データD2に基づく圧縮フレーム画像群が全て表示可能な状態となる。

またユーザがプログラムデータD5に基づくアプリケーションプログラムをインストールすると、当該アプリケーションプログラムが実行された際に、ディスプレイ画面上に所定のアプリケーション画面が表示されると共に、シーン名に応じた撮影状況（すなわちシチュエーション識別情報D6）ごとの画像ファイルが当該アプリケーション画面に関連付けられて表示される。

例えばアプリケーションが、図6に示すような日記を表す「フォトダイアリ」の場合、ディスプレイ画面上には、あたかも日記帳を開いたように左右に予定表画面FR1及びメモ画面FR2からなるアプリケーション画面FAが表示される。

このアプリケーション画面FAにおいて、左側の予定表画面FR1は、例えば週単位で各日ごとに午前9時から午後9時までの12時間を3時間単位で区切ったカレンダー画面であり、3時間単位をひとまとめとして撮影状況（すなわちシチュエーション識別情報D6）に応じた枠欄（以下、これをシーン表示欄と呼ぶ）M1～M9が撮影日時に合わせて表示されるようになされている。

このシーン表示欄M1～M9は、3時間内で撮影された画像数が複数の場合には、シーン名及び撮影枚数がGUI（Graphical User Interface）表示される（M1～M5）一方、撮影された画像数が1枚の場合のみ当該画像を所定倍率に縮小してなるインデックス画像M6～M9が表示される。

複数枚の画像数であるシーン表示欄M1～M5について、ユーザによるマウス操作がなされると、当該シーン表示欄M1～M5に含まれる全ての画像が所定サイズに縮小されたインデックス画像（図示せず）として一覧表示される。そして

ユーザにより選択されたインデックス画像は、シーン名及び撮影枚数のみ表示された元のシーン表示欄に代えて表示することができるようになされている。

また右側のメモ画面 F R 2 には、上段にユーザが予定表画面 F R 1 から選択した 1 枚のインデックス画像 I N が所定サイズに拡大表示されると共に、当該インデックス画像 I N の隣にはその画像の撮影日時が表示されるようになされている。そしてインデックス画像 I N の下段には、テキスト文書等で文字の入力が可能なメモ欄が表示されている。なおこのアプリケーション画面 F A では、1 枚の予定表画面 F R 1 に対して複数枚のメモ画面 F R 2 を設定して階層的及び又は選択的に表示し得るようになされている。

(1-3) 第 1 の実施の形態によるメモリカードへの記録処理手順

実際にこのデジタルカメラ 1 において、ユーザにより電源がオン状態にされると、CPU 1 4 は、図 7 に示す画像データ記録処理手順 R T 1 をステップ S P 0 から開始し、ステップ S P 1 において、アプリケーションプログラムが選択されるのを待つ。

続いてステップ S P 2 において、CPU 1 4 は、システムメモリ 1 5 から選択されたアプリケーションプログラムを表すプログラムデータ D 5 を読み出した後、ステップ S P 3 に進んで、ユーザによる操作部 4 C の操作によって被写体の撮影状況が選択されるのを待つ。

やがてユーザによって被写体の撮影状況が選択されると、CPU 1 4 は、ステップ S P 4 に進んで、当該選択された撮影状況に応じたディレクトリを作成した後、ステップ S P 5 に進む。

このステップ S P 5 において、CPU 1 4 は、ユーザによって被写体が撮影されたか否かを判断し、肯定結果が得られた場合のみステップ S P 6 に進んで、撮像結果である画像データ D 1 のヘッダ部分に、圧縮符号化の際に用いられるデータフォーマットに従って、シチュエーション識別情報 D 6、時間情報 D 7 及び画像記録情報 D 8 を記述するようにデータ圧縮伸長部 2 5 を制御する。そして CPU 1 4 は、ヘッダ部分にシチュエーション識別情報 D 6、時間情報 D 7 及び画像

記録情報D 8が記述された画像データD 2を上述したディレクトリに割り当てて不揮発性メモリ16に書き込む。

続いて、CPU14は、ステップSP7に進んで、ヘッダ部分に各種情報が記述された画像データD 2をプログラムデータD 5に基づくアプリケーションプログラムに関連付けてメモリカードMCに記録する。

この後、CPU14は、ステップSP8において、ユーザによって被写体の撮影状況が変更されたか否かを判断し、肯定結果が得られた場合には、再度ステップSP4に戻って、当該変更後の撮影状況に応じたディレクトリを作成した後、ステップSP5～SP8の処理を上述と同様に繰り返す。

一方、ステップSP8において否定結果が得られた場合には、このことは現状の撮影状況が維持されていることを表しており、このときCPU14は、ステップSP9に進んで、ユーザによって次の撮影がなされたか否かを判断する。

このステップSP9において肯定結果が得られた場合には、当該撮影結果を処理すべく、再度ステップSP6に戻って、撮像結果である画像データD 1のヘッダ部分に、圧縮符号化の際に用いられるデータフォーマットに従って、シチュエーション識別情報D 6、時間情報D 7及び画像記録情報D 8を記述するようにデータ圧縮伸長部25を制御した後、ステップSP7以降の処理を上述と同様に繰り返す。

一方、ステップSP9において否定結果が得られた場合には、このことはユーザによってデジタルカメラ1の電源がオフ状態にされたか、又は撮影モードから再生モード等の他のモードに切り替えられたことを表しており、このときCPU14は、そのままステップSP10に進んで当該画像データ記録処理手順RT1を終了する。

(1-4) 第1の実施の形態による動作及び効果

以上の構成において、このデジタルカメラ1では、ユーザによって所望のアプリケーションが選択された後、続いて所望の撮影状況が選択されると、当該撮影状況に応じたディレクトリを作成する。そしてユーザの操作に応じて順次撮影

されるごとに撮影結果として得られる画像データD 1を当該ディレクトリに割り当てる。

やがてユーザによって選択された全ての撮影状況に応じたディレクトリにそれぞれ撮影結果としての画像データD 1が割り当てられた状態で、各画像データD 1を圧縮符号化する。その際、各画像データD 1ごとに、ヘッダ部分に撮影状況を表すシチュエーション識別情報D 6、撮影日時を表す時間情報D 7及び画像に対する設定条件を画像記録情報D 8を所定のデータフォーマットに従って記述する。

この後、ヘッダ部分に当該各種情報が記述された全ての画像データD 2を、ユーザによって選択されたアプリケーションに応じたアプリケーションプログラムに関連付けてメモリカードMCに記録する。

このようにしてユーザは撮影後のメモリカードMCに記録された画像データD 1をパーソナルコンピュータ等に取り込んで再生すると、ディスプレイ画面上にメモリカードMCに対応するディレクトリのアイコンが表示され、当該ディレクトリの下位として、デジタルカメラ1に対応するディレクトリのアイコンと、アプリケーションプログラムに対応するアイコンとが表示される。このうちユーザがデジタルカメラ1に対応するディレクトリを開くと、撮影状況の種類に応じた数のディレクトリが作成されてディスプレイ画面上に並んで表示される。

一方、ユーザがアプリケーションプログラムをインストールすると、当該アプリケーションプログラムが実行されて、ディスプレイ画面上に所定のアプリケーション画面が表示されると共に、撮影状況ごとに画像ファイルが当該アプリケーション画面に関連付けられて表示される。

従ってユーザは、ディスプレイ画面上に表示されたアプリケーション画面を目視しながら、必要に応じて画像ファイルのうち所望の画像を所望の部位に表示させるといった種々の編集作業を行うことにより、撮影状況に応じた画像ファイルをアプリケーション画面に組み込むことができ、この結果、当該アプリケーションを有効に活用することができる。

以上の構成によれば、このデジタルカメラ 1 では、ユーザによって所望のアプリケーション及び撮影状況が選択された状態で順次撮影がなされると、撮影結果として得られる画像データ D 1 を、撮影状況ごとに対応するディレクトリに割り当てると共に、ヘッダ部分にシチュエーション識別情報 D 6、時間情報 D 7 及び画像記録情報 D 8 を所定のデータフォーマットに従って記述するようにして圧縮符号化した後、当該各種情報が記述された全ての画像データ D 2 を、選択されたアプリケーションに応じたアプリケーションプログラムに関連付けてメモリカード MC に記録するようにしたことにより、実際にかかる撮影後のメモリカード MC をパーソナルコンピュータ等に取り込んで再生したとき、ディスプレイ画面上にメモリカード MC に記録されている撮像状況ごとの画像ファイルを表示させるのみならず、必要に応じてアプリケーションプログラムに基づくアプリケーション画面に撮影状況ごとの画像ファイルに関連付けて表示させることができ、かくしてユーザの使い勝手を一層向上させることができる。

(2) 第 2 の実施の形態

第 2 の実施の形態におけるデジタルカメラ 1 は、上述した第 1 の実施の形態におけるデジタルカメラ 1 と同一構成を有し、メモリカード MC への記録処理方法が異なる以外同様の機能及び作用を行うようになされている。

(2-1) 第 2 の実施の形態によるメモリカードへの記録処理手順

実際にこのデジタルカメラ 1 において、ユーザにより電源がオン状態にされると、CPU 1 4 は、図 8 に示す記録処理手順 R T 2 をステップ S P 1 0 から開始し、ステップ S P 1 1 において、ユーザによる操作部 4 C の操作によって被写体の撮影状況が選択されるのを待つ。

やがてユーザによって被写体の撮影状況が選択されると、CPU 1 4 は、ステップ S P 1 2 に進んで、当該選択された撮影状況に応じたディレクトリを作成した後、ステップ S P 1 3 に進む。

このステップ S P 1 3 において、CPU 1 4 は、ユーザによって被写体が撮影されたか否かを判断し、肯定結果が得られた場合のみステップ S P 1 4 に進ん

で、撮像結果である画像データD 1のヘッダ部分に、圧縮符号化の際に用いられるデータフォーマットに従って、シチュエーション識別情報D 6、時間情報D 7及び画像記録情報D 8を記述するようにデータ圧縮伸長部25を制御する。そしてCPU 14は、ヘッダ部分にシチュエーション識別情報D 6、時間情報D 7及び画像記録情報D 8が記述された画像データD 2を上述したディレクトリに割り当てて不揮発性メモリ16に書き込む。

この後、CPU 14は、ステップSP 15において、ユーザによって被写体の撮影状況が変更されたか否かを判断し、肯定結果が得られた場合には、再度ステップSP 12に戻って、当該変更後の撮影状況に応じたディレクトリを作成した後、ステップSP 13～SP 15の処理を上述と同様に繰り返す。

一方、ステップSP 15において否定結果が得られた場合には、このことは現状の撮影状況が維持されていることを表しており、このときCPU 14は、ステップSP 16に進んで、ユーザによって次の撮影がなされたか否かを判断する。

このステップSP 16において肯定結果が得られた場合には、当該撮影結果を処理すべく、再度ステップSP 14に戻って、撮像結果である画像データD 1のヘッダ部分に、圧縮符号化の際に用いられるデータフォーマットに従って、シチュエーション識別情報、時刻情報及び画像記録情報を記述するようにデータ圧縮伸長部25を制御した後、ステップSP 15以降の処理を上述と同様に繰り返す。

一方、ステップSP 16において否定結果が得られた場合には、このことはユーザによってデジタルカメラ1の電源がオフ状態にされたか、又は撮影モードから再生モード等の他のモードに切り替えられたことを表しており、このときCPU 14は、ステップSP 17に進んで、選択された全ての撮影状況と対応可能なアプリケーションプログラムが少なくとも1つ以上選択されたか否かを判断し、肯定結果が得られた場合のみステップSP 18に進む。

このステップSP 18において、CPU 14は、選択された全てのアプリケーションプログラムを表すプログラムデータD 5をシステムメモリ15から読み出

した後、そのままステップS P 1 9に進んで、ヘッダ部分に各種情報が記述された画像データD 2をプログラムデータD 5に基づくアプリケーションプログラムに関連付けてメモリカードM Cに記録する。

この後、C P U 1 4は、そのままステップS P 2 0に進んで当該記録処理手順R T 2を終了する。

(2-2) 第2の実施の形態による動作及び効果

以上の構成において、このデジタルカメラでは、ユーザによって所望の撮影状況が選択されると、当該撮影状況に応じたディレクトリを作成する。そしてユーザの操作に応じて順次撮影されるごとに撮影結果として得られる画像データD 1を当該ディレクトリに割り当てる。

やがてユーザによって選択された全ての撮影状況に応じたディレクトリにそれぞれ撮影結果としての画像データD 1が割り当てられた状態で、各画像データD 1を圧縮符号化する。その際、各画像データD 1ごとに、ヘッダ部分に撮影状況を表すシチュエーション識別情報D 6、撮影日時を表す時間情報D 7及び画像に対する設定条件を画像記録情報D 8を所定のデータフォーマットに従って記述する。

この後、選択された全ての撮影状況と対応可能なアプリケーションがユーザによって少なくとも1つ以上選択された場合には、当該アプリケーションプログラムに対して、ヘッダ部分に当該各種情報が記述された全ての画像データD 2に関連付けてメモリカードM Cに記録する。

このようにしてユーザは撮影後のメモリカードM Cに記録された画像データD 2をパーソナルコンピュータ等に取り込んで再生すると、ディスプレイ画面上にメモリカードに対応するディレクトリのアイコンが表示され、当該ディレクトリの下位として、デジタルカメラ1に対応するディレクトリのアイコンと、選択された全てのアプリケーションプログラムに対応するアイコンとが表示される。このうちユーザがデジタルカメラ1に対応するディレクトリを開くと、撮影状況の種類に応じた数のディレクトリが作成されてディスプレイ画面上に並んで表

示される。

一方、ユーザが所望のアプリケーションプログラムをインストールすると、当該アプリケーションプログラムが実行された際に、ディスプレイ画面上に所定のアプリケーション画面が表示されると共に、撮影状況ごとに画像ファイルが当該アプリケーション画面に関連付けられて表示される。

従ってユーザは、ディスプレイ画面上に表示されたアプリケーション画面を目視しながら、必要に応じて画像ファイルのうち所望の画像を所望の部位に表示させるといった種々の編集作業を行うことにより、撮影状況に応じた画像ファイルをアプリケーション画面に組み込むことができ、この結果、当該アプリケーションを有効に活用することができる。

またデジタルカメラ1において、少なくとも1以上のアプリケーションを、全ての撮影状況が選択された後で、当該選択された各撮影状況に対応するものを選択対象とするようにしたことにより、撮影状況ごとに割り当てられた画像ファイルが全く関連付けられないアプリケーションが発生するのを未然に防止することができる。この結果、ユーザがパーソナルコンピュータ等を用いてメモリカードを再生したときに、ディスプレイ画面上に全く画像ファイルが関連付けられていないアプリケーションに対応するディレクトリが表示されるのを未然に防止して、当該ディレクトリを画面上から削除する手間を省くことができる。

以上の構成によれば、このデジタルカメラでは、ユーザによって所望の撮影状況が選択された状態で順次撮影がなされると、撮影結果として得られる画像データD1を、撮影状況ごとに対応するディレクトリに割り当てると共に、ヘッダ部分にシチュエーション識別情報D6、時間情報D7及び画像記録情報D8を所定のデータフォーマットに従って記述するようにして圧縮符号化した後、当該各種情報が記述された全ての画像データD2を、選択された全ての撮影状況と対応可能なアプリケーションのうち選択された少なくとも1つ以上のアプリケーションに応じたアプリケーションプログラムに関連付けてメモリカードMCに記録するようにしたことにより、実際にかかる撮影後のメモリカードMCをパーソナル

コンピュータ等に取り込んで再生したとき、ディスプレイ画面上にメモリカードMCに記録されている撮像状況ごとの画像ファイルを表示させるのみならず、必要に応じてアプリケーションプログラムに基づくアプリケーション画面に撮影状況ごとの画像ファイルを関連付けて表示させることができ、かくしてユーザの使い勝手を一層向上させることができる。

(3) 他の実施の形態

なお上述の第1及び第2の実施の形態においては、本発明による撮像装置として図1及び図2に示すようなデジタルカメラ1を適用するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、この他種々の構成からなる撮像装置に広く適用することができる。

また第1及び第2の実施の形態においては、被写体を撮影する撮像手段を、撮像部10、信号処理部11及びA/D変換部12から構成するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、被写体の撮影結果を画像データとして得ることができれば、この他種々の構成からなる撮像手段を適用するようにしても良い。

さらに第1及び第2の実施の形態においては、予め設定された複数種類の撮影状況のうち、選択された撮影状況に応じてディレクトリを作成するディレクトリ作成手段を、CPU14から構成するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、撮影状況が新たに選択されるごとにディレクトリを対応して作成することができれば、この他種々の構成からなるディレクトリ作成手段を適用するようにしても良い。

さらに第1及び第2の実施の形態においては、撮影結果として得られる画像データD1を、選択された撮影状況に応じたディレクトリに割り当てる割り当手段を、CPU14から構成するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、この他種々の構成からなる割り当手段を適用するようにしても良い。また所望の撮影状況が選択された状態にあるとき、撮影結果として順次得られる画像データD1を全て、当該撮影状況に応じたディレクトリに割り当てるようにすれ

ば、撮影状況ごとに複数の画像データD1群からなる画像ファイルを作成することができる。

さらに第1及び第2の実施の形態においては、選択された撮影状況に対応するシチュエーション識別情報（識別情報）D6を画像データD1に付加する付加手段を、データ圧縮伸長部25及びCPU14から構成するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、この他種々の構成からなる付加手段を適用するようにしても良い。

実際に画像データD1をJPEG規格に基づくデータフォーマットに従って圧縮符号化するようにした場合について述べたが、これ以外にも、TIFF（Tagged Image File Format）、DCF（Design Rule for Camera File System）、Exif（Exchangeable Image File Format）、CIFF（Camera Image File Format）、GIF（Graphics Interchange Format）、BMP（Bit Map）、PICT（Quick Draw Picture Format）及びFPX（Flash Pix）等の種々の画像ファイル形式により画像データD1を管理し、必要に応じて圧縮符号化するようにしても良い。

この場合、上述した第1及び第2の実施の形態のように、画像データD1を関連付ける対象となるアプリケーションを日記を表す「フォトダイアリ」とした場合において、撮影時刻を表す時間情報D7と、画像データD1に基づく画像に対する設定条件を表す画像記録情報D8とを、シチュエーション識別情報（識別情報）D6と共に画像データに付加するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、画像データD1を関連付ける対象となるアプリケーションの種類に応じて、種々の情報を画像データD1に付加するようにしても良い。

例えば、画像データD1を関連付ける対象となるアプリケーションが地図を表す「エリアマップ」である場合には、衛星からアンテナ20（図2）を介して受信した電波に基づいてデジタルカメラ1の撮影場所が緯度及び経度で表された

座標位置からなる位置情報D Pを生成しておき、当該位置情報D Pと、画像データD 1に基づく画像に対する設定条件を表す画像記録情報D 8とを、シチュエーション識別情報（識別情報）D 6と共に画像データD 1に付加するようにすれば良い。

具体的には、「エリアマップ」を表すアプリケーション画面として、例えば「世界地図」、「日本地図」、「地方地図」、「都道府県地図」、「市町村地図」及び「市街地図」といった広範囲から狭範囲に至る階層画像をユーザの操作に応じて選択的に表示するようにしておき、各画像ごとに表示範囲内に含まれる全ての撮影場所に対応する位置にそれぞれポイントマークをG U I表示しておき、ユーザが所望するポイントマークをマウス等の操作により選択すると、当該ポイントマークに対応する画像を所定サイズに縮小されたインデックス画像として地図画像上に重畳表示させるようにすれば良い。このとき地図画像上のポイントマークに複数枚の画像が含まれている場合には、これら全ての画像が所定サイズに縮小されたインデックス画像として一覧表示するようにすれば良い。

さらに第1及び第2の実施の形態においては、シチュエーション識別情報（識別情報）D 6が付加された画像データを、指定された少なくとも1以上のアプリケーションに関連付けるように当該アプリケーションを表すアプリケーションプログラムと共に記憶する記憶手段として、外部から装填可能なメモリカード等の記録媒体を適用するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、デジタルカメラの内部に設けられた不揮発性メモリ1 6を適用するようにしても良い。この場合、当該不揮発性メモリ1 6に画像データ及びアプリケーションプログラムを一旦記憶しておき、パーソナルコンピュータ等と例えばU S B（Universal Serial Bus）等のインターフェイスを用いて接続するようにすれば良い。

さらに第1及び第2の実施の形態においては、複数種類の撮影状況から所望の撮影状況を操作部4 A～4 Cのうちのスティックダイヤル（選択手段）4 Cを用いて選択するようにし、その際、当該選択動作に同期して順次選択中の撮影状況

に応じたマーク及び又はシーン名（文字）を液晶モニタ（表示手段）５に表示するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、ユーザが所望する撮影状況を選択中に現在選択されている撮影状況を認識することができれば、この他種々の選択手段及び表示手段に広く適用することができる。

上述のように本発明によれば、被写体を撮影する撮影手段と、予め設定された複数種類の撮影状況のうち、選択された撮影状況に応じてディレクトリを作成するディレクトリ作成手段と、撮影手段の撮影結果として得られる画像データを、選択された撮影状況に応じたディレクトリに割り当てる割当手段と、選択された撮影状況に対応する識別情報を画像データに付加する付加手段と、識別情報が付加された画像データを、指定された少なくとも１以上のアプリケーションに関連付けるように当該アプリケーションを表すアプリケーションプログラムと共に記憶する記憶手段とを設けたことにより、撮影後に記憶手段から記憶内容を再生したとき、当該記憶されている撮像状況ごとの画像データを表示させるのみならず、必要に応じてアプリケーションプログラムに基づくアプリケーションに撮影状況ごとの画像データに関連付けて表示させることで当該アプリケーションを有効に活用することができ、かくしてユーザの使い勝手を一層向上し得る撮像装置を実現できる。

また本発明によれば、予め設定された複数種類の撮影状況のうち、選択された撮影状況に応じてディレクトリを作成する第１のステップと、被写体の撮影結果として得られる画像データを、選択された撮影状況に応じたディレクトリに割り当てる第２のステップと、選択された撮影状況に対応する識別情報を画像データに付加する第３のステップと、識別情報が付加された画像データを、指定された少なくとも１以上のアプリケーションに関連付けるように当該アプリケーションを表すアプリケーションプログラムと共に記憶する第４のステップとを設けたことにより、撮影後の記憶内容を再生したとき、当該記憶されている撮像状況ごとの画像データを表示させるのみならず、必要に応じてアプリケーションプログラムに基づくアプリケーションに撮影状況ごとの画像データに関連付けて表示させ

ることで当該アプリケーションを有効に活用することができ、かくしてユーザの使い勝手を一層向上し得る記録方法を実現できる。

産業上の利用の可能性

本発明は撮像装置及び記録方法において、デジタルカメラやカメラ付きの携帯電話及びPDA (Personal Digital Assistants) などに適用することができる。

請 求 の 範 囲

1. 被写体を撮影する撮影手段と、

予め設定された複数種類の撮影状況のうち、選択された上記撮影状況に応じてディレクトリを作成するディレクトリ作成手段と、

上記撮影手段の撮影結果として得られる画像データを、上記選択された撮影状況に応じた上記ディレクトリに割り当てる割当手段と、

上記選択された撮影状況に対応する識別情報を上記画像データに付加する付加手段と、

上記識別情報が付加された画像データを、指定された少なくとも 1 以上のアプリケーションに関連付けるように当該アプリケーションを表すアプリケーションプログラムと共に記憶する記憶手段と

を具えることを特徴とする撮像装置。

2. 上記割当手段は、

所望の上記撮影状況が選択された状態にあるとき、上記撮影手段の撮影結果として順次得られる画像データを全て、当該撮影状況に応じた上記ディレクトリに割り当てる

ことを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の撮像装置。

3. 上記少なくとも 1 以上のアプリケーションは、全ての上記撮影状況が選択された後で、当該選択された各上記撮影状況に対応するものを選択対象とする

ことを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の撮像装置。

4. 上記複数種類の撮影状況から所望の上記撮影状況を選択する選択手段と、

上記選択手段の選択動作に同期して順次選択中の上記撮影状況に応じたマーク及び又は文字を表示する表示手段と

を具えることを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の撮像装置。

5. 上記付加手段は、

上記撮影手段の撮影時刻を表す時間情報と、上記画像データに基づく画像に対する設定条件を表す画像記録情報とを、上記識別情報と共に上記画像データに付加する

ことを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の撮像装置。

6. 上記付加手段は、

上記撮影手段の撮影場所を表す位置情報と、上記画像データに基づく画像に対する設定条件を表す画像記録情報とを、上記識別情報と共に上記画像データに付加する

ことを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の撮像装置。

7. 予め設定された複数種類の撮影状況のうち、選択された上記撮影状況に応じてディレクトリを作成する第 1 のステップと、

被写体の撮影結果として得られる画像データを、上記選択された撮影状況に応じた上記ディレクトリに割り当てる第 2 のステップと、

上記選択された撮影状況に対応する識別情報を上記画像データに付加する第 3 のステップと、

上記識別情報が付加された画像データを、指定された少なくとも 1 以上のアプリケーションに関連付けるように当該アプリケーションを表すアプリケーションプログラムと共に記憶する第 4 のステップと

を具えることを特徴とする記録方法。

8. 上記第 2 のステップでは、

所望の上記撮影状況が選択された状態にあるとき、上記撮影結果として順次得

られる画像データを全て、当該撮影状況に応じた上記ディレクトリに割り当てることを特徴とする請求の範囲第7項に記載の記録方法。

9. 上記第4のステップでは、

上記少なくとも1以上のアプリケーションは、全ての上記撮影状況が選択された後で、当該選択された各上記撮影状況に対応するものを選択対象とすることを特徴とする請求の範囲第7項に記載の記録方法。

10. 上記第1のステップでは、

上記複数種類の撮影状況から所望の上記撮影状況を選択する際に、順次選択中の上記撮影状況に応じたマーク及び又は文字を表示することを特徴とする請求の範囲第7項に記載の記録方法。

11. 上記第3のステップでは、

撮影時刻を表す時間情報と、上記画像データに基づく画像に対する設定条件を表す画像記録情報とを、上記識別情報と共に上記画像データに付加することを特徴とする請求の範囲第7項に記載の記録方法。

12. 上記第3のステップでは、

撮影場所を表す位置情報と、上記画像データに基づく画像に対する設定条件を表す画像記録情報とを、上記識別情報と共に上記画像データに付加することを特徴とする請求の範囲第7項に記載の記録方法。

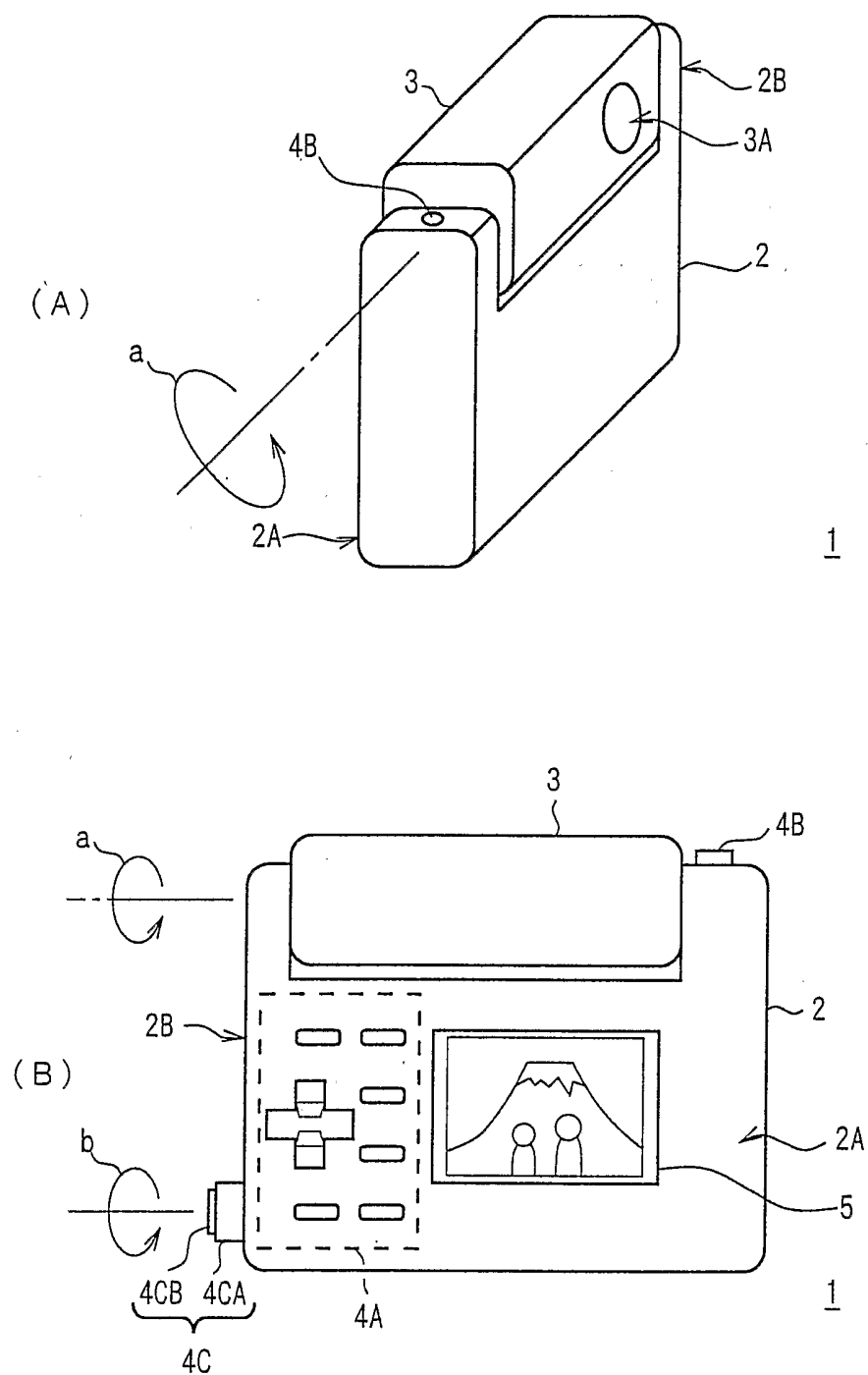
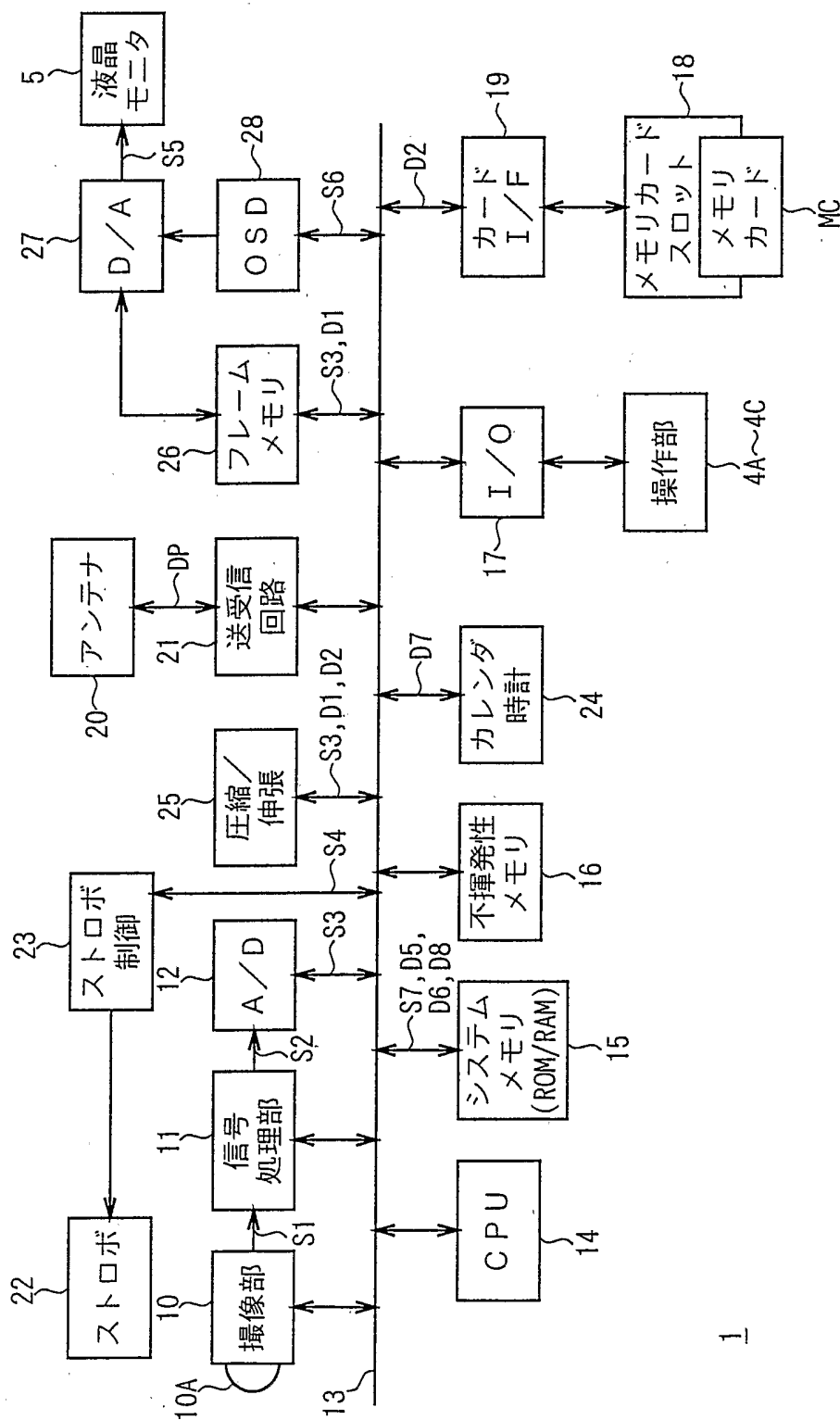


図 1

2
☒

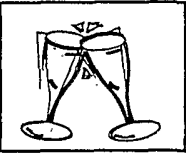
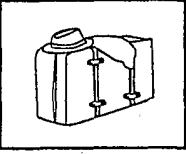
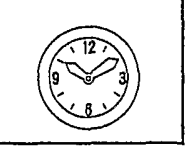
マーク	シーン名
	グルメ
	デート
	飲み会
	旅行
	スポーツ
	家族
	自分
	Auto

図 3

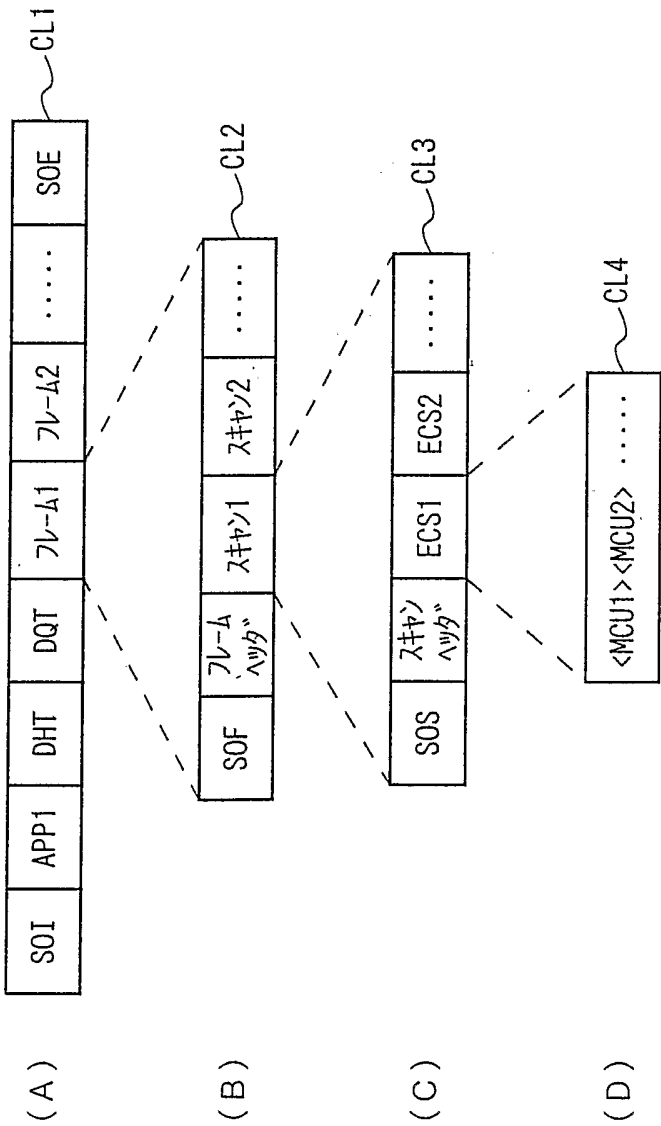


図 4

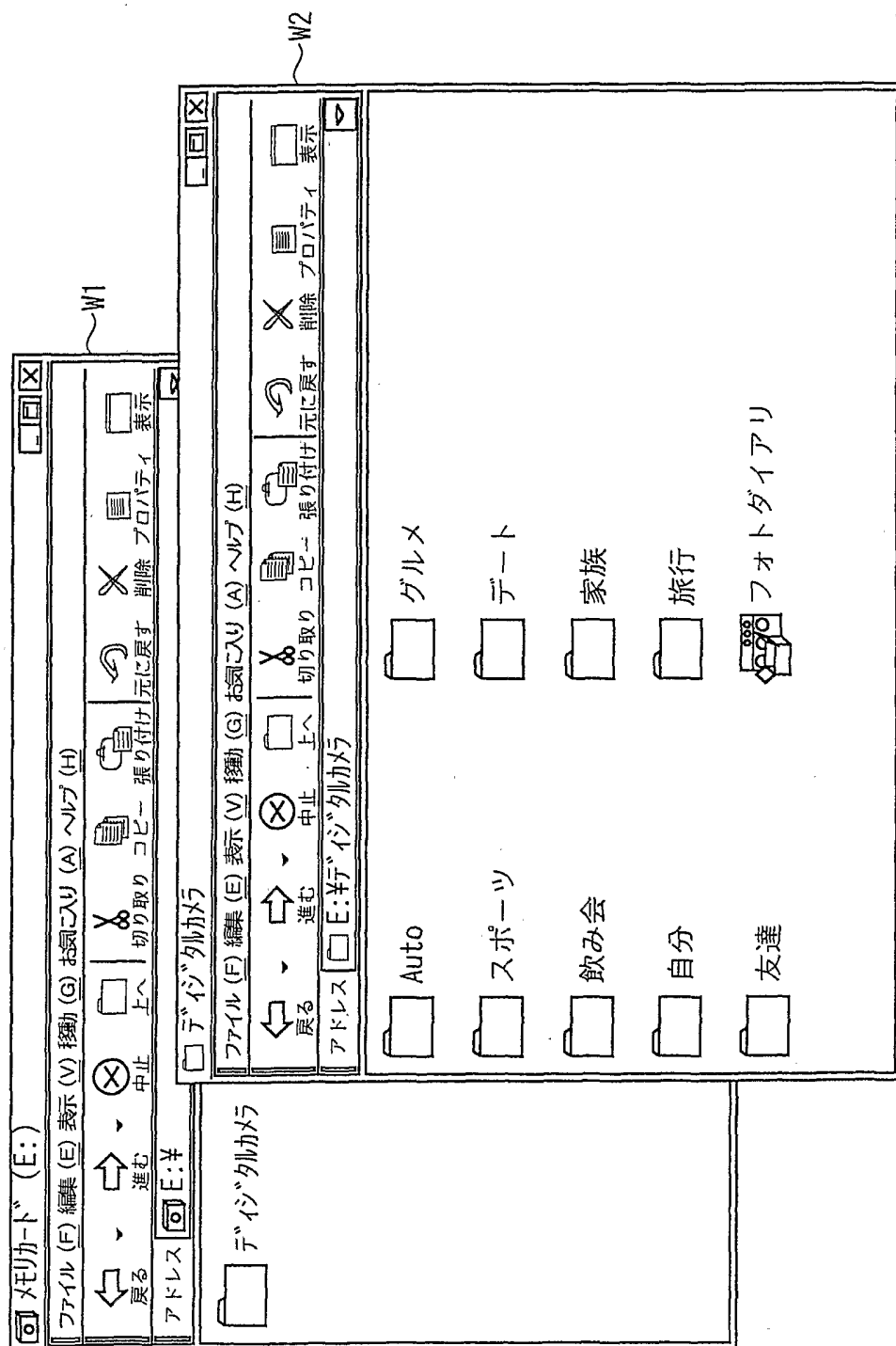


図 5

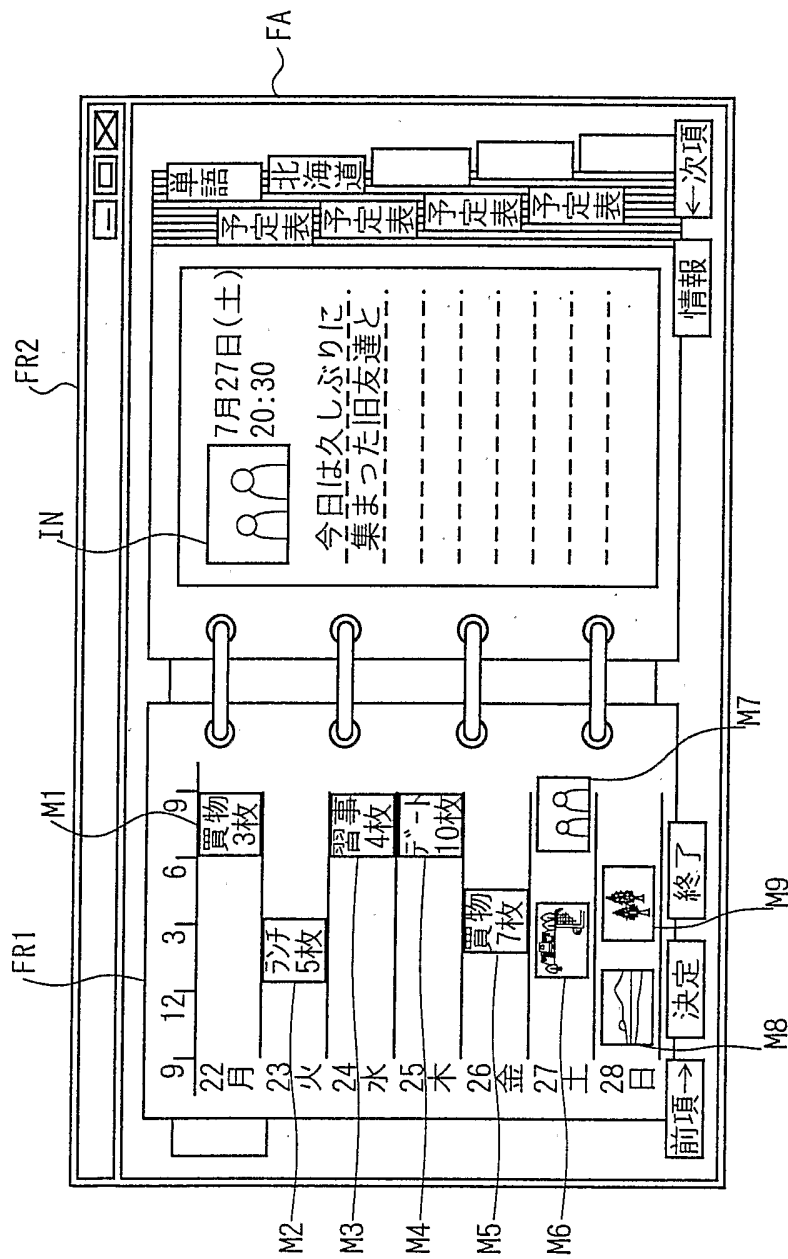


図 6

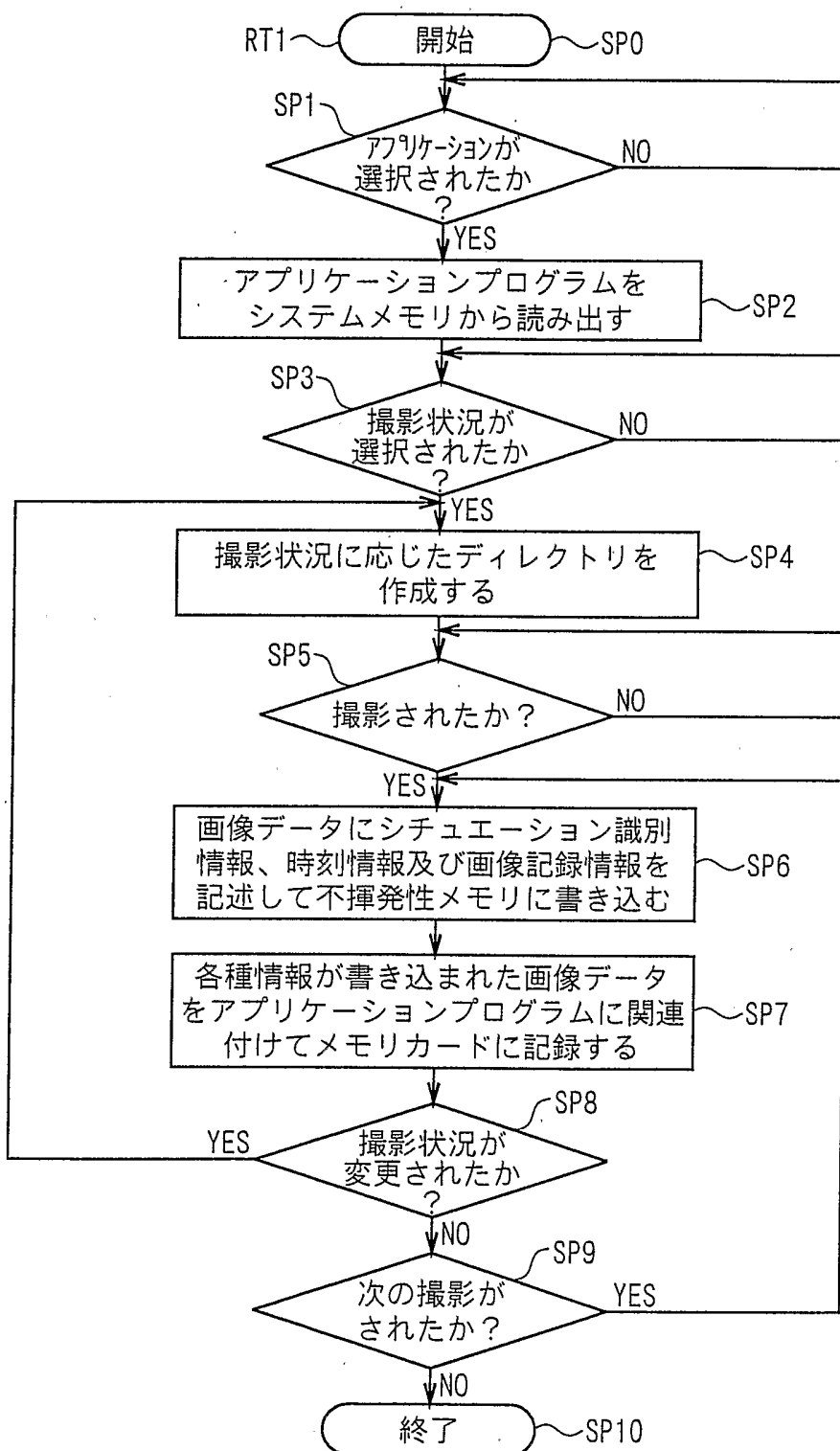


図 7

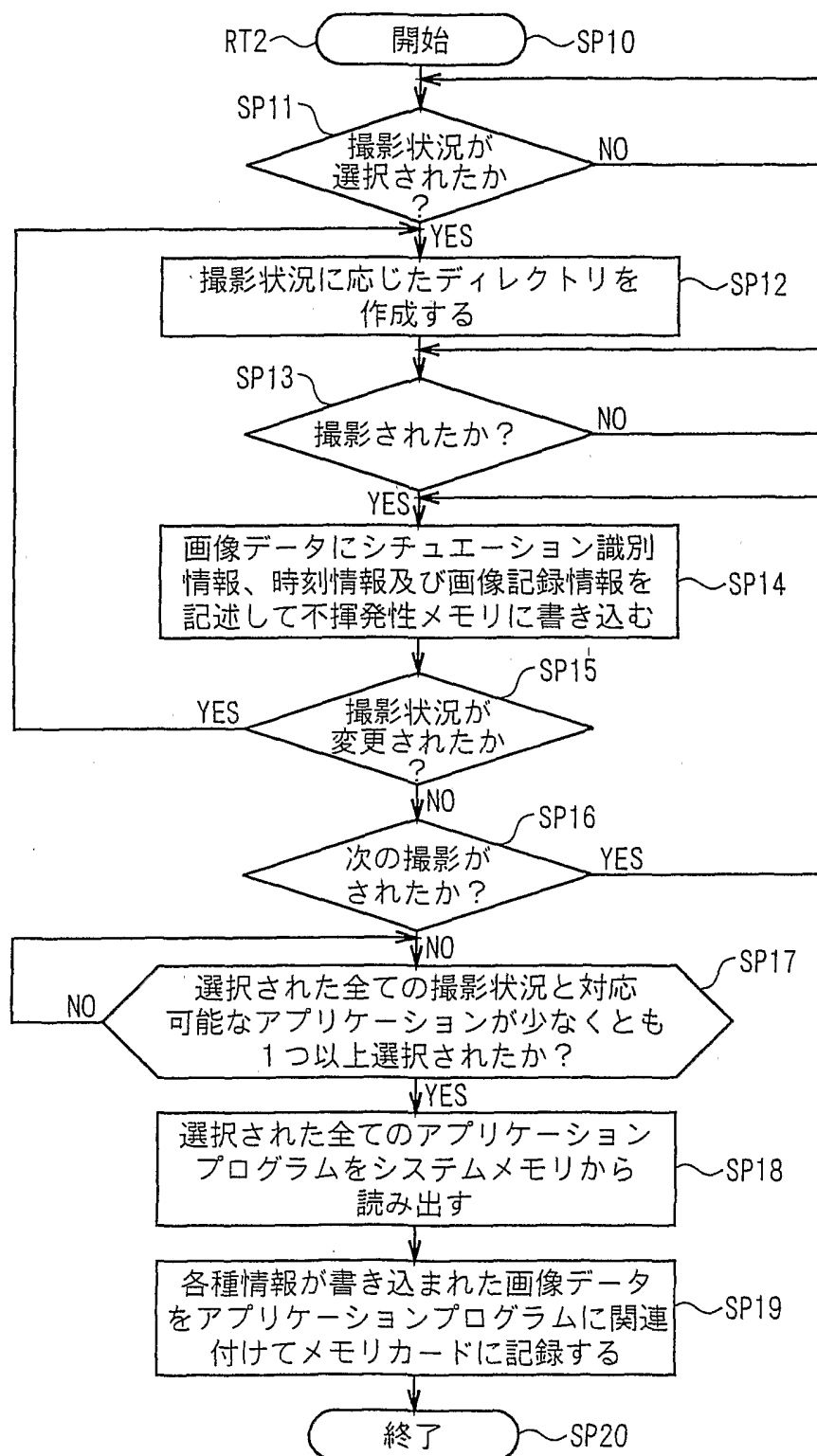


図 8

符号の説明

1 ……デジタルカメラ、2 ……ケース本体、3 ……カメラ部、4 A～4 C
……操作部、4 B ……シャッタボタン、4 C ……スティックダイヤル、5 ……
液晶モニタ、1 0 ……撮像部、1 1 ……信号処理部、1 4 ……C P U、1 5 ……
システムメモリ、1 6 ……不揮発性メモリ、2 0 ……アンテナ、2 5 ……デ
ータ圧縮伸長部、2 6 ……フレームメモリ、D 6 ……シチュエーション識別情
報、D 7 ……時間情報、D 8 ……画像記録情報、R T 1、R T 2 ……記録処理
手順

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP03/14356

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl⁷ H04N5/91

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl⁷ H04N5/76-5/956, 5/225-5/243

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched
Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2004
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2004 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 6-78260 A (Konica Corp.), 18 March, 1994 (18.03.94), Full text; Fig. 7 (Family: none)	1-12
Y	JP 5-64167 A (Hitachi, Ltd.), 12 March, 1993 (12.03.93), Full text; Figs. 1, 3 & US 5502497 A & DE 4228753 A1	1-12
A	JP 8-251528 A (Canon Inc.), 27 September, 1996 (27.09.96), Full text; Figs. 1 to 4 (Family: none)	1-12

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family
--	--

Date of the actual completion of the international search
10 February, 2004 (10.02.04)

Date of mailing of the international search report
24 February, 2004 (24.02.04)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int Cl⁷ H04N 5/91

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int Cl⁷ H04N 5/76-5/956, 5/225-5/243

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2004年
日本国登録実用新案公報	1994-2004年
日本国実用新案登録公報	1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 6-78260 A (コニカ株式会社) 1994. 03. 18 全文, 第7図 (ファミリーなし)	1-12
Y	JP 5-64167 A (株式会社日立製作所) 1993. 03. 12 全文, 第1, 3図 & US 5502497 A & DE 4228753 A1	1-12
A	JP 8-251528 A (キヤノン株式会社) 1996. 09. 27 全文, 第1-4図 (ファミリーなし)	1-12

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

10. 02. 2004

国際調査報告の発送日

24. 2. 2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

鈴木 明

5C

9185

電話番号 03-3581-1101 内線 3541